

平成 19 年 9 月 25 日

各 位

会 社 名 トレイダーズホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 斎藤 正敏  
(コード 8704 大証ヘラクレス)  
問合せ先 常務取締役 新妻 正幸  
(TEL 03-5114-0344 (代表))

## 証券取引システムの障害による損失額及び発生原因の特定に関するお知らせ

平成 19 年 9 月 20 日付で開示した、子会社トレイダーズ証券株式会社に関する「証券取引システムの障害により発生した損失に関するお知らせ」について、その後、ポジションの反対売買によって生じた損失額及び調査により発生原因が特定されましたので、お知らせ致します。

### 記

#### 1. 子会社の概要

商 号：トレイダーズ証券株式会社（以下、「子会社」と言います。）  
本店所在地：東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号  
代表者氏名：代表取締役社長 原屋 一雄  
資 本 金：20 億円  
出 資 比 率：100%  
主 な 事 業：証券取引事業、外国為替取引事業

#### 2. 損失額について

証券取引システムの障害に起因して意図せずに保有した日経 225 先物・オプション取引のポジションを反対売買したことによる損失額は、381,302 千円であります。

#### 3. 発生原因

子会社の法人顧客である特定の他の証券会社における 1 日分の取引データ（平成 19 年 9 月 18 日イブニングセッション開始時から翌日（障害発生日）の後場終了時まで）について、子会社のシステムは、これを後場の取引時間終了後 15 時 25 分に 1 日の処理済み注文として勘定系データ処理のために取り込むべきところ、イブニングセッション取引に対応したシステム仕様変更の際の設計ミスにより、既定よりも 10 分早く同処理が実行されたため、想定外の誤動作を引き起こし、取り込んだデータが注文テーブルへ登録され、再度イブニングセッションにおいて発注されてしまったものであります。

これにより、約定・未約定に関わらず多量の注文データが再度取引市場に出され、子会社の取引システムはこれらに対する約定情報等を認識できず、エラーが累積して障害を生じ、機能停止に陥ったものであります。

その後の経緯は、前回開示した「証券取引システムの障害により発生した損失に関するお知らせ」の通りであります。

なお、証券取引システムの障害は、障害発生日の翌日には復旧しており、その後の事業に影響は生じておりません。また、意図せずに保有したポジションはすべて子会社の自己勘定に振り替えたため、当該障害に関連して子会社が顧客と紛争を生じることはありません。

#### 4. 今後の対応について

子会社において障害を生じた証券取引システムは、 트레이ダーズフィナンシャルシステムズ株式会社が開発、保守運営するものであり、子会社はこのシステムを同社よりASP利用する契約を締結しております。

従って、契約上の瑕疵担保責任に基づき、子会社がシステム障害により意図しないポジションを保有し反対売買したことによる決済損、解決のために行った人的対応等により生じたコスト、取引機会の喪失その他について、トレーダーズフィナンシャルシステムズ株式会社に損害の賠償を求める方向で検討しています。

現在、具体的な対応手順等について顧問弁護士と相談中ではありますが、同社との協議を経て妥当な結論に達しない場合は、訴訟等の法的な措置に至る可能性があります。

なお、平成19年3月30日付で開示した「子会社の異動に関するお知らせ」の通り、当社はトレーダーズフィナンシャルシステムズ株式会社の株式を売却しておりますので、同社との資本関係はありません。

以上